

鬼首地熱発電所設備更新計画に係る環境監視結果（2020年度）

「鬼首地熱発電所設備更新計画 環境影響評価書」に基づき実施した、2020年度の環境監視（発電所建設工事中）の結果は、以下の通りです。

- 大気環境（工事関係車両等の運行状況）
工事関係車両台数の最大値は、2020年8月の74台/日で、計画最大値（177台/日）以下でした。
- 水環境（水質：浮遊物質）
工事中排水口での水質は、全て自主排水基準値の日間平均25mg/L以下でした。
- 水環境（温泉：温度、湧出量、泉質）
周辺温泉3地点の温度、湧出量、泉質に、大きな変化は生じませんでした。
- 植物（工事に伴い移植した重要な種の生育状況）
工事に伴い移植した重要な植物（アカモノ、サラサドウダン、ウラジロヨウラク、ギンラン）について、移植1年後の生育状況の確認を実施し、アカモノ、サラサドウダン、ウラジロヨウラクについては、概ね良好に生育していることを確認しました。
ギンランについては、地上部は確認されませんでした。
- 産業廃棄物
建設工事に伴う産業廃棄物（累計）は、汚泥、がれき類、木くず等が10,151トン発生し、10,048トンを有効利用、103トンを処分いたしました。

以 上